

広報広聴委員会 調査報告書

1 調査年月日	令和6年4月30日(火)～5月1日(水)
2 調査参加者	広報広聴委員：宮下稔、今堀雷三、竹上陽子、小原晃一、押田慶一、藤井邦彦、中山万宝、竹村知子 オブザーバー：小原茂幸(議長) 議会事務局：春日隆志、伊藤優子
3 調査事項 及び調査地	視察Ⅰ：広報広聴の取り組みについて(埼玉県大里郡寄居町) 視察Ⅱ：広報広聴の取り組みについて(神奈川県足柄上郡開成町)

調査の概要

●視察Ⅰ「寄居町議会における広報広聴の取り組みについて」

<視察先：寄居町役場(埼玉県大里郡寄居町)>

【寄居町概要】

埼玉県の北西部、都心から70km圏に位置し、荒川の清流が秩父の山間から関東平野に流れ出す扇状地の要に発達した、山美しく水清らかな町。面積は、64.25km²。自然環境が豊かで、県立長瀬玉淀自然公園に指定されている。昭和55年に開設された関越自動車道花園インターチェンジを玄関口に、国道140号と254号、JR八高線・東武東上線・秩父鉄道線が結接する交通の要衝地である。

視察先	埼玉県大里郡寄居町	
日時	4月30日(火) 13:30～15:00	
住所・連絡先	〒369-1292 埼玉県大里郡寄居町大字寄居1180 Tel:048-581-9995(議会事務局)	
寄居町概要	町長	峯岸 克明(みねざしかつあき)
	人口	32,106人(R5.1現在)
	面積	64.25km ²
	町の花	カタクリ
	町の木	ヤマザクラ
	町の鳥	キジ
	シンボルカラー	えんじいろ
寄居町議会概要	議長	吉澤 康広(よしざわやすひろ)
	副議長	笠原 則夫(かさはらのりお)
	定数	16

【事業概要】

議会基本条例の制定(H29)をきっかけに議会だよりの見直しに着手。

「読まれない議会だよりに出す意味なし！」を編集方針に、日本一クオリティーの高い議会だよりを目指し、議員・事務局・制作業者が一体となり取り組んでいる。読んでもらうにはどうしたらよいかを話し合い、町民に対して議員が直接取材するスタイルを確立。これにより町民との対話の機会を持つことができ、

企画やデザインのみならず、議会の動きを伝える誌面づくりにつながっている。(議会だよりのクオリティを高めることは重要だが、議会活動の中身が伴わないと意味がない。町民の声を聴くための強力なツールとして議会だよりを活用している。)

2015年からは、「KOE METER (声メーター…議員が取材した町民数をカウントし議会だよりに掲載)」を導入。2024年2月現在で857人の町民が誌面に登場している。

結果として、町村議会議長会の広報コンクールにおいては2017年～2020年全国1位、2021年全国2位、2022年～2023年全国1位に輝いている。

一方、認知度は向上しているものの、議員なり手不足の解消や投票率向上には直接つながっていないのが現状であり課題。(昨年の町議会議員選挙には定数16に対し21人が立候補する激戦となったが、投票率は下がっているとのこと。)

【考察】

○誌面の作り方

- ・議会だよりは、写真・文字の使い方、レイアウト全てが整っていて見やすく見たくなるようなものとなっている。
- ・議会だよりは活動等を発信するものと思っていたが、町民の声をしっかり拾い、写真、内容とも町民が主役となっているところがよい。
- ・111号裏表紙は、取材・構成力で評価できるが、表紙に内容説明がなく、紙媒体の力が不足していないか。
- ・議員取材は、目的・内容を委員会が決める。取材力＝広聴力＝議員力の考えが良い。
- ・議会だよりの特集は、議会活動の紹介が基本。活動があればネタに困らない。
- ・表紙にインパクトがあり尚且つ遊び心も感じられる。特集も表現が端的で分かり易い。
- ・議会だよりの表紙にインパクトがあり、目をひく。見出しやキャッチコピーなど工夫している。
- ・委託業者と協議しているのは、デザイン性などすぐれたものになると感じた。
- ・議会だよりは、伝えたいことでなく住民が知りたいことに重点を置いているところに共感
- ・常により多くの住民の声を拾い上げ、日本一のクオリティを目指した編集目標の高さ。
- ・良いところは真似をして見てもらえるような表紙を作成する。
- ・市民の声を取り上げ発信する。

○市民との対話

- ・各議員が、10代～80代の町民に2人ずつアンケート聞き取りをしている。議員が自ら動き、声を聴き、町政と議会報に生かしていることが住民参加型で素晴らしいと感じる。
- ・町民と直に接する(取材)ことで議会だよりが活性化し、議員力も向上する好例。
- ・「寄居議会です」の議会報が町民との激論の場になっていることが、各ページから感じとられる。
- ・議会モニターに頼らず、広く住民全体からの声を聴く方法を検討すべきだと感じた
- ・多くの町民に取材をし、紙面に登場が町民目線でより議会に関心を持ってもらえる。

○政策サイクル

- ・議員1期4年の政策サイクルを設定。わかりやすい。提言の深度が上がりそうである。
- ・議会だよりを、議会基本条例を具現化する手段とし、政策サイクルに組み込んだ手法。

○議員力、議会力向上

- ・各議員の取材力が広聴力となり、ひいては議員力のアップに繋がったこと。
- ・議会力を高めるためのツールとして、議会だよりを上手く利用していると感じた

○その他

- ・議会の広報広聴活動で実績を積んでも、その結果、出馬者は増え、投票率が減った要因をどう分析する

のか。

- ・大変優秀と思われる制作者が傍にいたので同等のクオリティーと言われても難しさを感じる。
- ・寄居町の女性の寿命が全国最下位であったことから、健康長寿の地を視察し、減塩運動などに結びつけて取り組みがされ、町全体の意識改革と成果として希望が感じられる。



寄居町議会広報広聴特別委員会より説明



寄居町議会だより

●視察Ⅱ「開成町議会における広報広聴の取り組みについて」

<視察先：開成町役場（神奈川県足柄上郡開成町）>

【開成町概要】

神奈川県西部、足柄上地域の中央部に位置し、酒匂川を境界に北から東にかけて山北町、松田町、大井町に接し、西は箱根外輪山を背にする南足柄市に、南は相模湾を望む小田原市に接している。酒匂川流域に形成された扇状地であるため、なだらかに南傾した平坦地で、地味、水利は良好で、気候も温暖である。

東西 1.7km、南北 3.8km で総面積 6.55k m² と神奈川で一番小さな町であるが、交通の便に恵まれ、うるおいと高い利便性を兼ね備えた、暮らしやすい土地柄である。

視察先	神奈川県足柄上郡開成町	
日時	5月1日(水) 10:00~11:30	
住所・連絡先	〒258-8502 神奈川県足柄上郡開成町延沢773 TEL:0465-84-0323(議会事務局)	
開成町概要	町長	山神 裕 (やまがみ ゆたか)
	人口	18,797人(R6.4現在)
	面積	6.55km ²
	町の花	あじさい
開成町議会概要	町の木	しいがし
	議長	山本 研一(やまもと けんいち)
	副議長	前田 せつよ(まえだ せつよ)
	定数	12

【事業概要】

通年会期制、日曜議会、ICT 化、議場の活用など様々な改革に取り組んでいる。「読む」から「見る＝魅せる」を基本とする中で、議会だよりは制作から発行までにタイムラグが生じ、約2ヶ月後の発行では遅いことから、広報誌と Web の両輪で広報改革を実践している。

現在の議会だよりは、「まずは手に取ってもらう」ことを信念に A4 サイズからタブロイド判に仕様変更。また、議会ホームページを斬新にデザイン。トップページを毎月変更する、議員が動き出す紹介ムービー、一般質問を Before→Question→After 形式により短編動画で紹介するなど、動画を積極的に取り入れている。

結果として、2021 年全国町村議会議長会広報コンクールにおいて奨励賞、第 18 回（2023 年）マニフェスト大賞議会改革賞優秀賞を受賞。議会だよりの賛否が届くようになった、YouTube 再生回数がリアルな反応として実感できるようになった、議員自らが動くことで「動き」を通じて発信することが浸透し開かれた議会の実現につながったなどの成果が出ている。

一方、成果は出ているものの、寄居町同様に投票率向上にはつながっていないのが現状であり課題。

【考察】

○誌面の作り方

- ・議会だよりをタブロイド版で発行したのは、とてもインパクトがあり思わず手に取ってしまう。
- ・5月最新号は、内面の議員紹介は、評価できるが、表紙や他のページは字数が多く、果たして読まれるのか疑問である。
- ・タブロイド版議会だより。要点を最小限にまとめウェブサイトへ積極的に誘導している。
- ・タブロイド判形式であるため、コンパクトで端的にまとめられている。QR コード・動画配信など工夫されている。
- ・「見る＝魅せる」改革で議会だよりのタブロイド判はインパクトがあるが目に留まり開いてもらう工夫が大事。
- ・見やすい、わかりやすい議会だよりを目指しての、前例のない大胆な編集と取組み。
- ・タブロイド判議会だよりは写真のインパクトはあるが、内容にもっと工夫の余地あり

○ウェブサイト

- ・ホームページ、動画、ライブ配信、SNS を大胆に採用し、魅せる広報を目指した改革。
- ・見せるウェブサイトには感心、また一般質問前後のインタビューは斬新です。
- ・タブレットに動画作成のプログラムあり。委員会の動画は、委員長が作成・編集するとは、目から鱗である。
- ・20秒動画の活用、紙面に QR コード。議員の露出が多いが、高齢者は見ないとの声あり。
- ・一般質問前と後の 20 秒動画、時間の無い人でも見易くて良い。議員の人柄も伝わる。
- ・議会のウェブサイト維持費に 5 年で 10,673 千円。年間 2,134 千円だが妥当かどうか。
- ・議員紹介や委員会、一般質問の紹介の動画が、活気的で工夫している。(短いのがよい)
- ・議会のウェブサイトの更新、アップなど大変だが、若い方や幅広い世代に関心を持ってもらえる取り組みだと思う。
- ・ウェブサイトを開設するのであれば、内容は勿論、アクセス数の分析も必要と感じた。

○意見交換会

- ・意見交換会の基本は 1 人 1 問。出された課題を解決する＝議会・町の魅力向上になる。
- ・議会報告会を町内全地区で開催し、意見交換会を行っている。

○開かれた議会に向けた取り組み

- ・子どもに夏休み議場を開放し、自習室として使っているという発想の転換には驚きました。
- ・人口社会増が毎年更新されている町として、移住者が多く、多様性があり、その中で議員 12 名が議会傍聴の呼びかけをするなど、努力されている。
- ・議会基本条例を基により開かれた議会を目指しての、様々な工夫や挑戦には刺激を受けた。

○その他

- ・議会の広報活動で実績を積み、今後は広聴活動に力を入れる方針だがビジョンの策定には何故時間を要すのか。
- ・子育ての町のブランディング化イメージづくり。新住民との開成 ID づくりを議会も意識。
- ・素晴らしい議会だより・ウェブサイトを作っても、投票率が下がってしまうことには驚いた。

- ・ 広報と広聴の分科会を設けて、専門的に深掘りしているところは参考に値する



開成町議会広報公聴常任委員会より説明



開成町議場にて